

第1回宇部市本庁舎建設基本計画検討委員会 議事録

日時/場所 2015年7月24日 18時～20時 / 宇部市役所4階委員会室

出席者 検討委員会／内田委員長、白石副委員長、加藤委員、藤川(尚)委員、藤川(修)委員、三村委員、橋本委員、
福田委員、藤井委員(代理)、安井委員、杉野委員、大畑委員
宇部市総務管理部／藤崎部長、前澤次長、床本課長、濱原課長補佐、深川係長、福重係員
(株)日建設計／中島部長、高木主管

番号 議 事

1. 挨拶

・総務管理部長より、挨拶とこれまでの経緯、これからの進め方についての説明を行った。

2. 委員紹介

・事務局より出席者の紹介を行い、出席者が自己紹介を行った。

3. 委員長・副委員長の選任

・委員長として山口大学内田教授、副委員長として宇部フロンティア大学白石教授が選任され、委員長及び副委員長より挨拶が行われた。

4. 議事(1)宇部市本庁舎建設基本構想について

・事務局より平成27年3月に策定した基本構想及び宇部市にぎわいエコまち計画についての説明を行った。

議事(2)宇部市本庁舎建設基本計画について

・先進地の事例紹介(最近の庁舎建設、他市基本計画)

・(株)日建設計より「最近の庁舎の考え方について」「最新の庁舎事例」「他市庁舎建設基本計画」について説明を行った。

・基本計画策定の進め方について

事務局より基本計画策定の進め方について説明を行い、以下の通り、質疑応答を行った。

・基本計画を策定していく上での前提条件は、どの程度提示されているのか。

→基本構想で示した内容が、現時点における条件のすべてである。

・仕事の仕方が変わらなないと、新しい庁舎の執務空間の規模は変わらないのではないかと。

→現状調査を行った上で、削減できる部分がないかを検討したい。また、組織構成の検討も同時に行っていく必要がある。

・変化の大きい窓口機能を議論する上では、基本計画(案)の策定までの時間が足りないのではないかと。

→通常より早めにパブコメを実施することで、市民の反応を広く取り入れたい。

・宇部新川駅周辺での建替えの検討も以前は行われていたが、現地周辺での建替えで進められる予定か。

→宇部市にぎわいエコまち計画においても市役所建替えによる人の交流をセントラルゾーンとして位置づけており、現地建替えを前提とし議論することとしたい。

・ワンストップサービスを皆が一様に望んでいるか。手続きの短時間化という視点以外にも、喫茶店など時間を有効に使える機能を考えるという視点もあるのではないかと。

→現庁舎は増築を重ねた結果、来庁者にとってわかりづらい窓口となっている。これから始まるマイナンバー制度による情報の整理なども踏まえて、窓口のあり方を検討していく必要はあるが、当該制度が開始されれば、窓口の待ち時間の短縮には一定の効果があると考えており、ワンストップサービスは前向きに検討したい。

・検討委員会の委員を12人とした理由は何か。

→昨年度は、51人の市民委員の方に参加いただき自由に意見を交わすワークショップのような形式を取ったが、基本計画では内容を絞り込んでいくために委員数を限定した。一方で、広い市民の意見の収集はアンケート調査やワークショップを行うことで補完したい。

・市庁舎建替えについて盛り上がりに欠けているとのことだったが、その主旨は何か。

→ヒストリア宇部の活用方法を検討していた時に比べると、まだ市民参加の機運が高まっていないと感じる。これからの何十年を決める大事なプロジェクトなので、市民と一緒に汗をかいて良いものにしたい。

番号 議 事

- ・コストのことを考えると「あったら良い機能」をすべて入れられない。コストの上限を決めることも重要であるが、どの段階での決定を考えているか。
 - 全体の概算事業費については、基本計画に記載する予定である。
- ・にぎわいエコまち計画における庁舎建替えの役割分担はどのように考えているか。
 - 同計画のセントラルゾーンでは、市役所周辺において多くの人が交流するという前提で考えている。
- ・来庁者に対して、市役所建替えに関して市民の意識が高まるようもう一工夫できないか。
 - ワークショップなどを通じて、広く周知するとともに機運が高まるよう努めたいと考えている。
- ・港町庁舎に入居している教育委員会は、新庁舎に移転してくるものと考えてよいか。
 - その予定である。
- ・ワンストップサービスの形態については、どう考えているか。
 - 庁舎の規模や地域の実情にあわせて、複数案を提示しながら検討を進めたい。マイナンバー制度は窓口のあり方を大きく変える可能性があることから、将来、変わることを前提とした計画を考えている。
 - マイナンバー制度は劇的な変化を生む。それに備えるためにも、検討時間は十分に確保されるべきと思う。
- ・民間活力を活用するとともに、また初期投資を抑えるだけではなくライフサイクルコストを意識する観点も重要である。
- ・市民への広報について、ネットに載せただけでは拡がりがない。宇部市では口コミなど、アナログな方法の方が拡がりやすいように思える。
- ・現在、市職員による総合窓口の考え方を検討中である。今後、これらについても議論を深めていきたい。
- ・現庁舎は耐震性に不安がある。災害時における防災拠点としての視点も忘れてはならない。
- ・宇部市を広域に見ると、市街地よりも山間地域の方が広い。支所・出張所のあり方など、庁舎建替えに伴い考えるべき課題もある。また、何をするにせよ無関心である傾向が強く、若い人にも興味を持てるような拡がり方を期待したい。

5. その他

次回以降の日程調整等に関する説明を事務局より行った。

以上